

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」袋井校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に児に対応することができる。	利用児ごとに個室を用意して、集中して課題を行うことができる環境を整備することで集団活動では力を発揮することができない児でも伸び伸びと活動を行うことができる。また、支援時の楽しみや毎月の小集団活動で指導員と共に他児と関わる楽しさを知り、コミュニケーション力を培うことができる。	同時刻他児との関わりを深めた後に、他の曜日、時間帯の利用児とも共に活動を行う機会を設定して支援したい。
2	親支援ができる。	支援時の送迎の際に保護者との関わりを持つことができ、利用児の現況などについて密に情報を共有することができる。その中で保護者への助言や面談に繋げたり、学校との会議を設定したりすることができる。	保護者会を定期的で開催しているが、仕事の都合等で出席できない保護者もあるので、開催日時については更に検討したい。
3	個別支援と小集団活動の両方を行うことができる。	個別支援で利用児の力を発揮する機会を作り、指導員との信頼関係を築くことができる。同時刻の利用児との小集団活動に参加して交流の範囲を広げることで集団活動への抵抗感を軽減することができる。	同時刻児との交流だけでなく、他の曜日の利用者とも交流し更に大人数の集団活動へ参加できるように、校舎全体へ向けた同日のイベントの呼びかけや近隣のきらり校舎との合同のイベントを検討したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団以上の人数での活動が難しい。	マンツーマンの個別支援を前提として利用者の時間を配分しているため、同時刻に出勤職員以上の利用を呼びかけることが難しい。	近隣のきらり校舎と合同にて活動を行ったり、利用者全体へ同時刻の活動を呼びかけたりすることで活動児の増加と職員を増員しての活動を行うことができる。
2	外活動を行うことが難しい。	近隣に遊具のある公園や図書館などがあるが、校舎外での活動を行うとすると天候や利用児の健康状態、道中の安全への配慮等、必要なことが多くあり、実現が難しい。	季節によって外活動を事前に計画へ組み込むことによって、保護者の了解を得たり、職員同士の動線の確認などを行うことができる。
3	調理等の食育を行うことが難しい。	事業所に調理場所の確保や道具・用具の準備が無いことと、食品衛生責任者が不在であること等の課題がある。	事業所で使用できる調理用具の選定を行い、調理場所の確保と職員が食品衛生責任者の講習を受講する予定。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」袋井校

公表日 2025年 2月 15日

2024年12月10日44人(実家庭41・兄弟
利用児童数 児3)

回収数 40

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	5				各支援室を利用者の活動に応じて指導員が相談し合って使用を決めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	2		1		法令に従った人員で保育士・児童指導員・言語聴覚士の有資格者にて支援を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	2			受付のカウンターに、たまに小さいアリアがあります。	毎日、清掃を行っていますが入口扉の閉鎖に留意したいと思います。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	3			こちらの希望も取り入れたプログラムにしてくれたり感謝しています。	お子さんの現状を伺い、今の困り感に配慮してプログラムを作成しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	1				公表している支援プログラムを踏まえて事業所の提供する支援内容を検討しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39			1		半年ごとに指導員のモニタリングと保護者のモニタリングを行って個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2		1		計画作成については、職員全員が関わると共に保護者の意見を伺い作成しています。また、丁寧な説明に努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	2		2		計画に沿った支援を行っていますが更に丁寧な説明に努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	4		1		月替わり工作や毎月の小集団活動など季節に因んだ内容を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	7	12	8	・そのかわりグループワークがあるので不満はありません。 ・他の放デイと交流がきらりの中で交流できる日があってもいいかもです。（長い休みとかで）	近隣のきらり校舎との合同の集団活動を行うなど、検討したいと思います。
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	3		2	家族支援プログラムがあったら、お知らせくださると嬉しいです。	保護者会にて講話等の研修を行っています。機会ごとにご案内をします。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	37	3			いろいろ聞いて下さり助かっています。	毎回の申し送りだけでなく、来所時等にも情報共有に努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	4	1		こちらから希望すればだと思います。	半年に1回以上のモニタリングと来所時、申し送り時の相談や個別での面談もお受けしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	2				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	27	11		2	・なかなか参加できていないがきらりカフェもまた再開できてよかったと思う。 ・兄弟への支援は今のところ無い気がします。 ・きょうだい向けにイベントがありましたら参加できると楽しそうです。	保護者会は定期的に開催して保護者様同士が交流していただけるよう努めています。利用児以外のきょうだいについては検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39			1	ラインなどで分かりやすく情報が入るので助かっている。	保護者全員に校舎LINEへ登録をお願いして、情報を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	2				書庫と事務所に施設して管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	1		1		緊急時対応、防犯など校舎内で研修し、活動の様子を掲示やLINEでお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39			1		毎月1回、災害内容の設定をして避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	2		1		安全計画は玄関の閲覧ファイルにあり、また災害時の対応については別紙を保護者へお渡ししています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2		4		事故や怪我等を未然に防ぐためにもヒヤリハット事案について職員全体で情報共有するとともにもし発生した場合についての対応は職員全員で共有しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38	2				ありがとうございます。利用を始めたばかりの方にも、楽しい居場所とさせていただけるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	6	1	1	・毎週、きらりに行くのを楽しみにしています。仕事が好きで玄関にかざって、うれしそうです。 ・不安定なので都度どのような方法がいいかやり取りを行えている。 ・毎回楽しく通っています。	・ありがとうございます。今後も楽しい支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	2		1		ありがとうございます。ご利用児と保護者様へ支援のねらいや達成できたことなどを更に具体的に詳しくお伝えしてご理解いただけるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」袋井校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	2	人員は法令を遵守し、保育士・児童指導員・言語聴覚士の有資格者で支援を行っている。	定員に対しての職員数は法令を遵守しているが、公休・有休取得の状況により出勤職員の人数が異なる場合がある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		玄関は階段とスロープが設置され、校舎内はバリアフリー対応がされている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		毎時間ごとにアルコール消毒と換気を行い、また利用児ごとに適切な大きさの机と椅子を用意し、室内の広さにも配慮して支援を行っている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		基本的に個室での個別療育を行うが利用児の状態によって小集団活動時でも個室で落ち着くなどの利用はできるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		各職員が目標設定と振り返りを半年毎に行い上長と面談を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		保護者向け事業所評価は98%の回答をいただき、職員全員で振り返りを行った。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		半年毎の面談にて意見を把握して、全体で取り組むべきものについてはタイミングを合わせて改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	5		外部評価については全社的に検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		年間を通して内部・外部ともに様々な研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		望ましい支援プログラムが作成、公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		児発管が保護者モニタリングを行い、計画作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		指導員が支援を踏まえてモニタリングを行い、計画原案についての会議を全員で行って児発管が本計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		計画は常に支援ファイルにて確認して支援準備が行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		アセスメントシートを活用して支援内容を検討して支援を実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		ガイドラインの内容に照らし合わせて支援内容を選択し設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		複数の指導員で支援を担当し、利用者の状況に合わせて内容を検討している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に因んだ小集団活動や月替わり工作の提示を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別支援に加えて毎月同時刻児による小集団活動を設定して支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前の朝礼や指導員同士の声掛けで個別支援の内容確認や小集団活動時の役割分担等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終業時に支援についての振り返りを行うとともに週3回は振り返りの時間を設けて情報の共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めているか。	6		各指導員が担当した支援について記録してプリントアウトし、他の指導員と共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年を目安に指導員、保護者とそれぞれにモニタリングを行い、次の計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		自立支援と日常生活の充実のための活動と創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせ利用児により支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		課題を選択制にして指導員とともに内容を決めるなど、利用児が自己決定できるような機会を設定して支援している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管と担当指導員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保健センターの集団活動の見学や協力医訪問にて情報交換、保護者の要望により小学校と会議を行い他の放デイや相談支援事業所との情報共有に努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	送迎を行っていないため、保護者から情報を得て下校時刻や行事の日程を確認している。	必要に応じて関係機関連携会議を行い、情報の共有に努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	園訪問や保護者との面談等で情報共有に努めている。児童発達支援事業所から申し送り情報をいただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	市の児童発達支援センターの療育の見学、研修への参加等、機会ごとに行い、利用児の状態の把握に努めている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後、利用児の様子を見学に行きたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	中遠自立支援協議会、子ども部会へ参加している。	児発管だけでなく、職員の参加も促したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		家庭や学校での様子について、モニタリング時だけでなく日頃から様子を伺い、現状について職員とも情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	ファミカフェ(保護者会)を実施して、講話部分で「言語聴覚士から見た療育」のテーマで研修を行い10名の参加希望があった。	日程の都合で参加できない保護者があるため、開催日については検討したい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規定は玄関にて常に掲示している。利用者負担等について契約時や通知書配布時に児発管が個別に説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		毎回の支援後や半年ごとの保護者モニタリング等でこどもや保護者の意向を確認している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者モニタリングの際に支援計画を示して内容の説明を行い保護者の意見を取り入れながら同意のサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		毎回の支援時やモニタリング、面談等を必要に応じて行い児発管や保育士が助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会を毎年開催して保護者同士の交流を促している。	きょうだい同士での交流については検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情については、相談窓口や責任者を設置し、保護者へ説明し周知を図っている。また、どの職員に対しても、気になる点を伝えていただけるよう声掛けし、全職員で共有して対策を講じている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HPIにブログを載せたりLINEで定期的に情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		書庫や事務所に施錠して管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚補助や動作の補助など必要に応じて配慮して対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	今年度は、行っていないため年度に検討したい。	昨年度まで市のスクールサポーターから防犯指導を受けたりスポーツ推進委員からニュースポーツを教えていただいたりしたので来年度に検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		社内の各委員会でマニュアルやチェックシートを作成している。また、発生を想定した訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは玄関の閲覧ファイルへ入れ掲示している。また、利用児が参加する防災訓練を毎月行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者から提出の基本情報シートにて確認しているほか最新の状況については来所時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	小麦粉粘土等の使用については保護者を通して医師からのアレルギー指示を確認して対応している。校舎内で飲食の提供は行っていない。	菓子の持ち帰りについては、保護者へ都度確認して対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画は作成して、玄関の閲覧ファイルへ掲示している。安全計画に沿って必要な訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画は作成して、玄関の閲覧ファイルへ掲示している。災害時の対応等については別紙で保護者へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事案については報告書を作成して職員全体で情報共有するとともに、再発防止に向けて全員で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		毎月チェックシートで振り返りを行うとともに定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		個別支援計画作成の面談時に保護者と記載を確認している。		